

平成15年8月16日（土）

### 「自分との対話」

セラピー(セラピスト)も武道(武道家)も、笛をふくことも、自分との対話。

その時関わっている何かを通して(人や道具)、自分を見ていく。

囚われをはずしていくこと、出来ない自分と出会い続けていくこと、そしてそれを超えていくこと、そのプロセスの中で感覚を研ぎ澄ましていくことは同じ。

そして”自在”であったことを思い出すこと。



愛用の龍笛、銘「赤星」。

平成15年9月2日（火）

## 「神道の祓いとセラピー」

神道は祓いに始まり祓いに終わると言われている。

”祓い”とは、穢れを去って清浄になること。

本来の自己に帰ること。

己れの中の罪穢れ（囚われ、怖れ）に気づき、元の姿に直していく。

祓いの奥義は”問わし祓い”。

穢れ（囚われ、怖れ）に対して、その理由（わけ）を聴いてみる。問うてみる。そして元の姿を知り、そこに戻していく。

”祓い”も”セラピー”も、求める姿は同じ。



山陰神道浄焔(じょうえん)祭

平成15年9月7日（日）

## 「全ては同時」

私は善であり悪であり、上であり下であり、右であり左である。

外界に働きかけているが、外界から働きかけられている。

全てからサポートされており、そしてその中で自ら選択をしていく。

私は自分であり、周りの世界でもある。

天は天、地は地として存在しているが、天地和合を成す。

一は多であり、多は一である。

全ては同時、同時に”存在”。ただ”在る”だけ。

そして、”ただ在る”ことが”全き光”。



清々しいエネルギーの明治神宮の杜

平成15年10月4日（土）

### 「”禍事を創り出す心”と”崇高な心”」

先日、「あの歴史的大事件と闘った医師たち」というTV番組を見ました。サリン事件等、私心を捨て、その時その場に真剣に向かいあった医師達にフォーカスした番組でした。それはとても崇高な姿でした。一方で、与えられている役割や立場を認識し、己の美意識をもって、その場に真剣に関わっていたら避けられたかもしれない医療事故が後を断ちません。

彼らは、私たちの中の”禍事を創り出す心”を象徴して見せてくれています。（彼らを批判し、否定するだけではそれこそエゴの罠に陥ります。）

また同時に、番組の医師達のように”崇高な自分”というものも存在しています。

私たちの心の中の善と悪（あえてこう呼びます）という二つの面を、外側の世界は常に見せてくれていて、どちらを選択するのかいつも問われているわけです。本来は”ただ在る”だけなので、何を選択してもよいのですが、その結果は自分が受け止めていくしかありません。ただ、私心を捨て、与えられた場に奉仕することができたら、そこに何が現れるかは「真剣に闘った医師たち」が教えてくれています。



平成15年10月10日（金）

## 「天橋立」

天橋立の夢を見ました。

ある神社の巫女が私に言います。元伊勢へ行ってき  
と。

何故か私は天橋立の方の山を見ると、その山から天に向  
かって真っ直ぐに虹が立っていました。（以下は現実の  
話です。）

この夢を見て、私は矢も盾もたまらず天橋立に行き、天  
橋立を歩いてわたりました。本当に天と地をつなぐ橋  
が、この地に横たわっていると思いました。それは美で  
あり調和であり平和であり、とても清々しく神々しいエ  
ネルギーで私を向かい入れてくれました。

これが”天地和合”だと思いました。

私は風、私は海、私は空、私は大地でした。

”美”は”神”です。

このエネルギーは、世界人類平和 の為に必要だと思  
いました。

そう思いながら、天橋立を渡り切り、元伊勢籠（この  
神社とその奥宮真名井神社を参拝すると、真名井神社の  
入り口に「人類平和、世界浄化」と書いてありまし  
た。神々の空間の中で、私ができることを自分に問いま  
した。



平成15年10月16日（木）

## 「心のスペース」

先日、出がけに妻とつまらない事でケンカをし、お互いに気分を害したまま、ある講演を聞きに行きました。会場は床の上に直接座るようになっていて、参加者の人数が会場のキャパシティを超えて予想以上に多くなった為、前後左右の間隔がどんどん詰まっていきます。会場の案内係は、何故か私たち二人の周りに、後から入ってくる人をどんどん誘導して座らせます。その為、私たちの座るスペースがさらに狭くなり、とても息苦しい思いで講演を聞くことになりました。周りを見てみると、私たちのスペースだけが、とても窮屈な状態になっているのに気づきました。つまらぬ事で争い、いつまでも心を凝り固まらせ、狭くさせていたことがすぐさま現象化されました。自分の魂を、こんなにも息苦しくさせていたのかと思うと申し訳ない気持ちになり、自分自身と、そして妻に謝りました。心の中で何が起きているかは、出来事がいつも教えてくれます。



平成15年11月3日（月）

### 「地球を心で汚す」

街の中で、歩きながら煙草を吸っている人が、私にはとても目につきます。

何故かそういう人が、私の前をよく歩いています。目にする度に、私はとてもイライラします。

副流煙を吸いたくないので、急いで追い越すようにしています。特に人ごみの中での、周りの人の迷惑など意に介さない在りように、憎しみさえ覚えます。平気で人の健康を犯し、そして地球をも汚しているからです。

ある日、ふと気づきました。私も同じなのだ。

煙草の煙や吸殻などのゴミのかわりに、私は心で地球を汚染していたのです。

人や出来事にイライラし、不安になり、時には憎悪の想念をまきちらし…

不調和なエネルギーをそこら中に放出していたのです。

私をイライラさせる彼らは、私の中の一部でした。



平成15年11月12日（水）

## 「変化」

11月8、9日はハーモニックコンコーダンスと呼ばれる星の配列が起こり、次のシフトへ移行するいわゆるアセンションの日だと言われていました。9日はくしくも衆院選挙の日、民主党が躍進し議席を伸ばしたものの、政権交代は起こりませんでした。

これは一つの見方であり、あくまで例えですが、自民党が古い自分で、政権交代が起こることが古い自分を手放して、新しい自分へシフトすることだとすると（民主党が新しい自分ということでもありません）、全体的な大きな変化（シフト）は一気に起きにくいということかも知れません。

今から10年ほど前、非自民連立政権が成立し、38年もの長きにわたる自民党政権が幕を閉じたかにみえました。しかし細川内閣はわずかの期間で崩壊し、その後自民は復活しました。急激な変化は時として歪みを生じ、反動もまた大きいのでしょう。

私たちは新しい違った自分に変わりたいと願いながら、古い馴れ親しんだ自分にしがみついたりもしますから、変化への抵抗は必ず起こります。いずれにしても、私たちの意識（集合意識）が、政治の世界という現象も創り出していますから、今回の選挙の結果も今の私たちの意識の現れです。全てはプロセスなのですが、大いなる流れの中でどんな変化を体験していくのかは、それぞれ私たち一人一人の選択によるわけです。



雨の明治神宮の杜



平成15年12月2日（火）

### 「侮れない手強い相手」

自分のホームページをアップして以来、人に会うと自分のサイトのことを話すことがあります。

この時、「私パソコンできないんです。」「インターネットはやってません。」等の返答がくると、その人を蔑みたくなる自分がいることに気づきました。

ついこの間までは、私自身がパソコンを扱えず、その前に座ることすら抵抗があったのに、自分のサイトを持って、少しでもパソコンに精通してくると、今度はそうでない人達を、侮蔑に近い意識で見ているのです。

何かが出来ると出来ない人に、何かを手に入れると手に入れてない人に対して、優越感とともに差別と侮蔑の意識を持ちます。

これは、「私は不十分です。」というエゴ的思考[自我意識]の裏返しで、失うことへの恐れ、失敗することへの恐れ、支配されることへの恐れ等、あらゆる恐れの源でもあるわけです。

この恐れは、否定や正当化など対立構造をも生み出し、私を権力闘争[コントロールドラマ]へ誘ったりもします。(今の地球上の争いは、私の心の反映でもあります。)

意識を高めようとしていたり、気づきを深めようとしていいる自分がいると同時に、そうでない人達への差別意識と侮蔑感(自分の方が意識が高いとか)は厳然として存在しています。

全てはエゴ[自我意識]の迷いが創り出す幻想(実相ではありません。)なのですが、この幻、幻とはいえ侮れないなかなか手強い相手です。



平成15年12月11日（水）

## 「気持ちの悪い夢」

どうしたら迷いから解放されるのだろう。何故いつまでも囚われだらけなのだろう。何とかして下さい！と祈りながら眠った時の夢です。

タマという黒猫(この猫は実際に我が家の黒猫で、よく吐いて汚したり、精神的に不安定でときにキレたりする、私にとっては厄介な存在です)が、何かの理由(理由は忘れました)で、もうこれは抹殺するしかないというくらい、とても邪魔で、不必要な存在になりました。妻もこのことは同意し、私が刀で、猫の心臓と首筋に切りつけます。ところが、急所を二カ所切ったにもかかわらず、死なないのです。傷口が開いたまま生きて動いているのです。

かえって始末の悪い状態になってしまいました。真っ赤な傷口がパッキリ開いたまま動いているその様は、正視に耐えられません。さらなる殺し方を思案しますが、その方法が分からないまま目が覚めました。

とても気持ちの悪い夢でした。

自分の中にある見たくないものや、なくなって欲しいと思っているもの、否定したいものに対して、排除や抹殺というエゴ的対立概念(エゴ対エゴの図式)で関わろうとするとどうなるか、あらためて教えてくれた夢でした。否定や争いからは何も生まれないどころか、かえって收拾のつかない状態になるということを、ある大国のやり方も私たちに教えてくれています。



我が家の黒猫、タマ  
(マウスポインタをのせてみて下さい)